

山口情報芸術センター [YCAM]

## 未来の山口の授業 at School 2022

2022年4月～2023年1月

山口市内の小学校、中学校、山口情報芸術センター [YCAM]

### 「学びのプラットフォーム」としてのYCAM

### YCAMから提案する「メディア・テクノロジー」×「学び」の多彩なプログラム

山口情報芸術センター [YCAM] では、YCAMが開発した教育プログラムを山口市内の小中学校で実施する「未来の山口の授業 at School 2022」を実施します。

学校教育の現場において、情報を読み解き、活用する能力の向上は重要な課題となっています。こうした状況を踏まえ、YCAMの豊富な知見を活かして、小中学校で実施可能な教育プログラムの開発をおこなうと同時に、それを次世代に向けた新たな教育モデルとして全国に発信する取り組み「未来の山口の授業」を2016年度から進めています。2021年度からは、山口市教育委員会と共同で実施する「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」の一環として、ファブラボ山口の協力のもと、山口市内の小中学校で、YCAMが開発した教育プログラムを実施するとともに、学校教員向けの研修を開催しており、2022年度は2年目の実施となります。

情報を分かりやすく発信／伝達する能力や、プログラミング的思考などの能力を育む本プロジェクトを通じて、これからの社会を担う人材の育成につなげていきます。ここから生まれる成果にご期待ください。



2021年度に実施した際の様子  
(撮影：塩見浩介)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

TEL：083-901-2222 メールアドレス：press@ycam.jp ウェブサイト：www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

## YCAMが目指す持続的な学びのサイクル



教育プログラムのひとつ「音景クルーズ」 撮影：田邊アツシ

YCAMは2003年の開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現と鑑賞者をつなぐため、研究開発プロジェクトや作品制作の過程で得たテクニックや知見、開発したソフトウェア／ハードウェアなどを応用して、教育プログラムを多数開発／実施してきました。それらは単なるメディア・リテラシーの向上や知識の強化だけではなく、普段の生活に新たな視点をもたらし、物事を捉える想像力／創造力の向上にもつながるよう設計されており、キッズデザイン賞を受賞するなど外部からも高い評価を得ています。

2016年からはこうした取り組みを、新たな教育モデルとして持続的に展開し、世界へ発信できるよう、「未来の山口の授業」という枠組みで実施しています。この中では、YCAMがこれまでに開発してきた多彩な教育プログラムをYCAMで体験できる「at YCAM」、YCAMを飛び出し山口市内の小中学校で体験する「at School」、そして近年の研究をもとにした実験中のプログラムを体験できる「β（開発版）」の3つの展開で、YCAMの持続的な学びのサイクルを進めてきました。

2021年度からは、山口市教育委員会がYCAMと推進する先進教育プロジェクト「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」として、「未来の山口の授業 at School」を実施。文部科学省の「GIGAスクール構想」などの影響で急速に進む教育現場のICT化に対応した授業開発を、教員とYCAM、そして山口市の小学校でプログラミング教育の普及に貢献してきたファブラボ山口とともに取り組んでいきます。

## 地域の学校と協働し、新たな学びの場を提供する



小学校で教育プログラムを実施した時の様子（撮影：塩見浩介）

2022年度の「未来の山口の授業 at School」は、山口市内の4つの小中学校でのYCAMオリジナルの教育プログラムの実施と、教員向けの研修会から構成されます。

### 小中学校での教育プログラムの実施

山口市北部の生雲小学校、中心部の白石小学校と宮野中学校、南部の秋穂小学校において教育プログラムを実施します。

生雲小学校と白石小学校、秋穂小学校では、例年生活科や社会科などの授業で実施されている地域学習を発展させ、ウェブ上で閲覧可能な地域図鑑を児童たちと制作する「360°図鑑」を実施します。宮野中学校では、タブレット端末を使ってアニメーションを制作するプログラム「アニメーション壁画うご板（いた）」を文化祭のプログラムのひとつとしてします。

いずれも映像技術などのメディアテクノロジーを駆使したプログラムで、教員と協力しながら、それぞれの学校の実態に合わせて、授業に組み込みながら進めていきます。

### 教員向けの研修会

教育プログラムの実施と並行して、山口市内の小中学校に勤務する教員を対象に研修会「100人の先生と考える未来の山口の授業」を開催します。この研修では、学校への配備が進む学習用タブレット端末の活用方法や、必修化されたプログラミングなど、授業の情報化に関連するトピックについてのレクチャーを開催します。（2022年度はすでに終了しました）

### ■ 360°図鑑



撮影：塩見浩介

インターネット上に写真や動画などのメディアを盛り込んだ地域の図鑑を作成することで、他者との協働による調査方法やメディアの効果的な活用方法について学ぶワークショップです。私たちの身近な「地域」に焦点を当て、自らの足で歩き、五感で感じ取った体験や取材を基にして、オンラインで閲覧が可能な図鑑を制作します。編集作業を通じて、目的に応じて適切にメディアを活用する技術や、インターネットを通じた他者とのコラボレーションについて理解を深めることができます。

### ■ アニメーション壁画うご板



撮影：塩見浩介

1枚の平面上の区切られた部分をカメラが順番に抽出し表示することで〈うごき〉を作り出すアニメーションの制作手法「フレットアニメーション」を活用し、壁画を制作するプログラムです。

この手法は映像作家／研究者の萩原健一が考案したもので、机に置いたものが瞬時にアニメーションとして反映され変容しつづけます。いつでも改変可能なので、気軽にアニメーションの原理を学びながら制作に取り組むことができます。

## 開催概要

## 未来の山口の授業 at School 2022

2022年4月～2023年1月

山口市内の小学校、中学校、山口情報芸術センター [YCAM]

### ■ スケジュール

※発表会までに実施する授業については、原則非公開となっております。取材についてはYCAMまでお問い合わせください。

#### 360°図鑑

##### 白石小学校（山口市白石1-10-1）

発表会：2022年11月11日（金）

##### 生雲小学校（山口市阿東生雲中319）

発表会：2022年11月12日（土）

##### 秋穂小学校（山口市秋穂東6771）

発表会：2023年1月を予定

#### アニメーション壁画うご板

##### 宮野中学校（山口市桜島4-9-1）

発表会：2022年10月22日（土）

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

協力：ファブラボ山口

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

## 同時開催イベント

#### 鎖国 [Walled Garden] プロジェクト

##### ローレン・リー・マッカーシー+カイル・マクドナルド新作パフォーマンス アンラーニング・ランゲージ

2022年11月12日（土）～2023年1月29日（日）

スタジオB

アメリカを拠点に活躍するアーティスト、ローレン・リー・マッカーシーとカイル・マクドナルドとYCAMによる新作パフォーマンスです。

「AI（人工知能）にはない人間の資質とはなにか？」というテーマを探求する観客体験型パフォーマンス作品です。作中にはAIが登場し、観客にさまざまな問いを投げかけ、観客はAIに対応していく過程で人間とマシンの違いについて、考えを深めていきます。

作品の上演のほかに、インターネットやAIなど、現在のテクノロジーの状況に対して多角的な視点を得るための上映やトークイベント、パブリックプログラムも多数開催します。